

## 平成 24 年度第 2 回経営審議会議事録

平成 24 年度第 2 回公立大学法人宮城大学経営審議会	
日 時	平成 25 年 3 月 18 日 (月) 午後 1 時 30 分から午後 3 時 40 分まで
場 所	宮城大学大和キャンパス 本部棟 4 階 応接会議室
出 席 者	西垣理事長, 佐藤副理事長, 大和田理事, 井上理事, 佐々木理事, 弦本副学長, 阿部委員, 上田委員, 加藤委員
欠 席 者	大山委員, 佐藤委員, 堀切川委員
事 務 部 等	加藤理事, 千葉事務部長, 佐藤次長兼総務課長, 成田参事兼学務課長, 岩渕企画財務課長, 蜂谷学務課副参事, 総務課 佐々木(浩)主任主査・渋谷主任主査, 企画財務課 遠藤G L・熊谷主幹
議事概要	<p>1 議事録署名人の選任 上田委員及び井上委員が選任された。</p> <p>2 審議事項</p> <p>(1) 平成 25 年度 年度計画について 「平成 25 年度 年度計画」に基づき説明を行い, 委員から次のような質問があり, それぞれ説明した。</p> <p>① 限られた人材(教職員・学生)で社会貢献・地域貢献を続けていくと負荷が掛かりすぎるのではないかとの質問があり, 教員により差はあるが, 今まで担っていた活動をレベルアップした形でそれぞれ活動している旨の説明があった。</p> <p>② 看護学部・看護学研究科の領域を広げていくのかとの質問があり, がん看護や助産師・保健師について大学院レベルで行いたいと考えているが, 地域ではがん専門看護師が不足しているため, まずはがん看護課程について申請し開設したい旨の説明があった。</p> <p>③ グローバル人材の育成についてベトナムと交流する経緯について説明してほしいとの意見があり, 海外でのインターンシップがアジアを中心としたグローバル人材養成に効果的で, 発展が目覚ましいことなどからベトナムが適地であると判断した旨の説明があった。</p> <p>以上の説明及び質疑応答の後, 全会一致で承認された。</p> <p>(2) 平成 25 年度当初予算(案)について及び(3)平成 24 年度補正予算について(追認) 「平成 25 年度当初予算(案)」及び「平成 24 年度補正予算」に基づき併せて説明を行い, 委員から次のような質問があり, それぞれ説明された。</p> <p>① 定年の年齢について質問があり, 65 歳であり例外的な対応を除き定年延長はしていない旨の説明があった。</p> <p>② 授業料の減免基準と期間について質問があり, 持ち家が全壊または半壊した学生などを対象に平成 25 年度まで実施する予定であり, 減免の原資が県からの運営費交付金であることからそれ以降については県との協議を踏まえて検討する旨の説明があった。</p> <p>③ 被災学生の経済的支援及び学生の被災地へボランティア活動ができるだけ長い期間やっていただけるようお願いしたい旨の意見があった。</p> <p>以上の説明及び質疑応答の後, 全会一致で承認された。</p>

(4) 宮城大学自己点検評価について

「公立大学法人宮城大学自己点検・評価の概要」及び「自己点検・評価報告書」に基づき説明を行い、委員から次のような質問があり、それぞれ説明された。

① 認証評価は書類審査だけの評価になるのかとの質問があり、平成 25 年度には現地調査があり、教員や学生などへのインタビューが行われるなど、書類審査と現地調査の両方が行われる旨の説明があった。以上の説明及び質疑応答の後、全会一致で承認された。

(5) 公立大学法人宮城大学基本規則の一部改正について

「公立大学法人宮城大学基本規則の一部改正について」に基づき説明を行い、全会一致で承認された。

(6) 公立大学法人宮城大学退職手当規程の一部改正について

「公立大学法人宮城大学退職手当規程の一部改正について」に基づき説明を行い、全会一致で承認された。

2 報告事項

(1) 平成 25 年度入学者選抜状況について

資料に基づき説明があった。

(2) 外部研究資金の獲得状況について

資料に基づき報告があった。

この議事録は、平成 24 年度第 2 回公立大学法人宮城大学経営審議会の議事録である。

平成 25 年 3 月 18 日

公立大学法人宮城大学

経営審議会議長 西垣 克

議事録署名委員 上田笑子

議事録署名委員 井上正康